2013.10.19 版　FlyingCat R/C Models　all right reserved.

DUALSKY® FC130 飛行機用３軸ジャイロ　取扱説明書

製品の寸法（35×27×12mm）、重量約 8g

本製品は DUALSKY 社開発チームが約１年のテストを重ねて製品化されました。
アクロ機はもちろん、スケール機にもお奨めです。スケールライクな安定したフライトを実現します。
開発ターゲットは電動飛行機一般ですが、振動対策に留意すればエンジン機にも使用可能です。

＜製品の特長＞

・エルロン、エレベータ及びラダーの3軸を個々に本体で感度調整が可能
・ジャイロの動作はノーマルモードとヘディングロックが選択可能
・エルロン１サーボ、エルロン2サーボ、無尾翼機（デルタ翼）、V テール機で使用可能
　エルロンの2サーボを利用したフラッペロン（エアブレーキ）には対応していません。
・フタバ製 S.BUS 接続でも使用可能 ※1 （S.BUS による感度調整はできません）
・送信機のスイッチ CH を使用して、ジャイロの ON/OFF が可能
・本体の SET ボタンと LED（L1,L2）を用いて、ジャイロのパラメータの設定が可能
・動作電圧 4.8～8.4V リポ2S で使用可能（ハイボルト対応）

＜付属品＞

・受信機接続用ケーブル（オス・オス ケーブル 2本、 オス・3分配ケーブル 1本）
・取付用両面テープ（2mm 厚） 1枚

＜配線の接続について＞

（機首方向）

（受信機へ接続）					（サーボを接続）			
SBUS	ELE	AIL	SWITCH		AIL2	RUD	ELE	AIL
＋	RUD	＋	＋		＋	＋	＋	＋
－	AIL2	－	－		－	－	－	－

・サーボの接続について

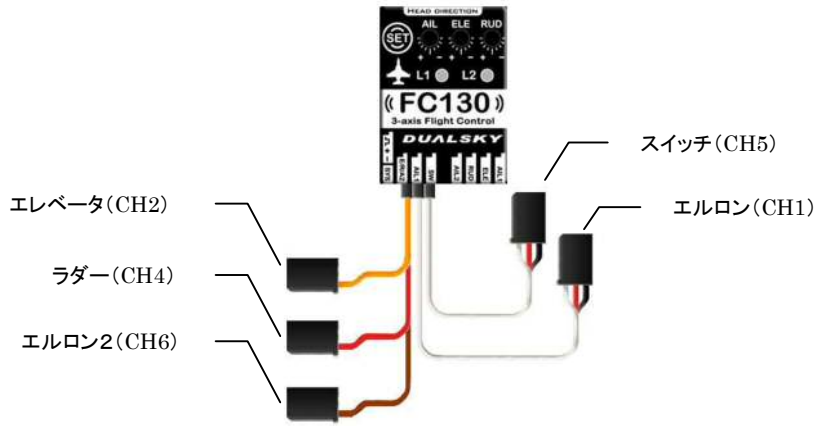
ジャイロの右側4ポートにサーボを接続します。
無尾翼機の場合は、AIL1,AIL2 へサーボを接続します。
V テールの場合 ELE,RUD へサーボを接続します。
無尾翼機または V テールを使用する場合は送信機のミキシングを有効にしてください。

<<この資料は著作物です。許可無く、内容の一部分及び全てを引用・複製・配布・ネット上へ掲載することを禁止します。>>

2013.10.19 版　FlyingCat R/C Models　all right reserved.

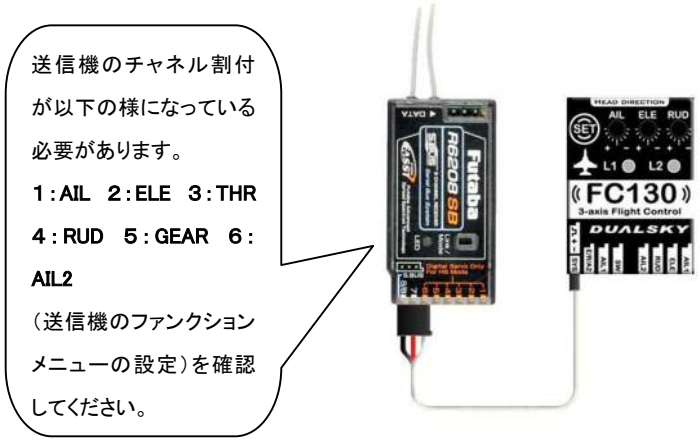
・受信機への接続方法（標準的な接続）

付属のオス・オス ケーブルを3本使用して、受信機の各チャンネルへ接続してください。
引出線（CH1,2…）は、フタバ製受信機の標準的な場合です。



・受信機への接続方法（S.BUS 接続）

FUTABA S.BUS で接続する場合は付属のオス・オス ケーブルを1本使用して接続可能です。
ただし、消費電流が大きいサーボを使用する場合は、FUTABA 純正の S.BUS ケーブルの使用をお勧めします。（心線が太いので許容電流が多く取れます）



＜使用方法＞

配線の接続を完了後、別紙の 「LED 表示による設定方法」 を実行してください。

飛行機のタイプ変更した場合やキャリブレーションで送信機の信号をうまく読み取れない場合は、ジャイロをリセット（工場出荷時の設定）してから、設定をして下さい。

送信機のトリム、舵角（ENDPOINT）を変更した場合は、キャリブレーションを再度実行してください。

注1： 一部の受信機で、S.BUS 信号の読み取りに問題が有り、正常に動作しない場合があります。

【正常に動作しない受信機の型番】R6202SBW　R6203SB（SBE）　R6303SB(SBE)
【動作確認済み受信機の型番】R6108SB　R6208SB　R2008SB

注2： 感度調整ボリュームは、50%（目盛中央）から調整を始めてください。一般的に性能の良いサーボの場合は感度が下がる方向になります。感度の＋－方向は、印刷が逆になっていますのでご注意ください。

注3： ジャイロを搭載することにより、サーボの消費電流が増えますので、受信機用バッテリーの残量に注意してご使用ください。

注4： ジャイロの設定直後に、送信機からジャイロを ON/OFF した場合に、トリムずれが起こることがあります。このような場合は、受信機電源を OFF にして、しばらくしてから電源を入れ直してください。

注5： ジャイロの電源（アンプの BEC）が動作に影響を与える場合があります。特にスイッチング BEC を使用した場合、瞬間的な電圧の変動（電流消費が大きいサーボを動かした場合等）が動作不良の原因になる場合があります。

<<この資料は著作物です。許可無く、内容の一部分及び全てを引用・複製・配布・ネット上へ掲載することを禁止します。>>

LED表示による設定方法

SET 長押し(2秒) で設定モードに入ります

SET 長押し(2秒) 設定値を保存して設定モードを終了します

L1 設定項目

L2 設定値の選択

	L1 設定項目	青色	緑色	赤色	黄色	紫色	水色	白色
1	キャリブレーション エルロン、エレベータ、ラダーのニュートラルポジションの設定及び動作舵角の設定を行います。	各舵のニュートラルを設定 点滅が終了するまで、送信機のスティックをニュートラルにすること。	左エルロンの動作舵角 エルロンを左側最大まで動かし、点滅が終了するまで保持する。	右エルロンの動作舵角 エルロンを右側最大まで動かし、点滅が終了するまで保持する。	エレベータアップの動作舵角 エレベータを下側(アップ)最大まで動かし、点滅が終了するまで保持する。	エレベータダウンの動作舵角 エレベータを下側(ダウン)最大まで動かし、点滅が終了するまで保持する。	左ラダーの動作舵角 ラダーを左側最大まで動かし、点滅が終了するまで保持する。	右ラダーの動作舵角 ラダーを右側最大まで動かし、点滅が終了するまで保持する。
2	フライトモード 受信機のスイッチチャンネルを使用しない場合、設定値のフライトモードになります。	ノーマルモード AIL：ノーマル ELE：ノーマル RUD：ノーマル	アドバンストモード AIL：ヘディングロック ELE：ヘディングロック RUD：ノーマル	3Dモード AIL：ヘディングロック ELE：ヘディングロック RUD：ヘディングロック				
3	動作角速度	360度/秒	540度/秒	720度/秒				
4	飛行機のタイプ	標準タイプ	無尾翼機	Vテール機				
5	ジャイロの搭載方向	正面、前向き	背面、前向き	正面、左向き	正面、右向き			
6	サーボ周波数	50Hz アナログサーボ	120Hz デジタルサーボ	200Hz デジタルサーボ				
7	リセット	出荷時の設定						

各設定項目の操作：SET ダブルクリック 設定値の選択へ

⇒（自動で移動）

各設定値の操作：SET ダブルクリック ⇒へ移動

SET クリック

（スイッチチャンネルを使用する場合）

送信機の3ポジションスイッチを使用すると、OFF、ノーマルモード、フライトモードの設定値 を選択できます。動作時に送信機のスイッチで切り替えをすると、L2が0.5秒間、選択状況

⇒ ジャイロの動作をOFFにします

⇒ ノーマルモードで動作します

⇒ フライトモードの設定値で動作します

（動作時のL2の点灯色）